

第4学年社会科学学習指導案

日時 平成21年10月14日(水) 5校時
場所 宮古市立山口小学校
4年1組教室
児童 男子13名 女子14名 計27名
指導者 教諭 山口 博文

1 単元名

- 7 昔のくらしとまちづくり(くらしのうつりかわり)
「小学社会3・4下」(教育出版)
「わたしたちの宮古」(宮古市教育委員会)

2 単元について

(1) 教材について

教材の特性から、本単元を次のような方針で展開する。

- ア 現在も子どもたちの目にふれ、調べることのできる具体的事例で追究させる。
- イ 子ども主体の学習を目指し、昔の道具を使った体験活動をしたり、開発地を見学したり、記念碑を調べたり、資料館を利用して実物に触れたり、聞き取り調査をしたりするなど、子どもの体験的追究活動の場面を多く取り入れる。
- ウ 昔の生活道具や年中行事から、開発単元への接続は、年中行事に込められた昔の人たちの願いや地域に残る文化遺産調べを通して展開する。

(2) 児童について

学級全体として読書が好きな児童が多く、本を読んで得た知識を生かして授業中に発言することも多い。1学期は、「5 安全なくらしとまちづくり」、「6 健康なくらしとまちづくり」の学習において、生活体験や社会的知識の乏しさを補うため、生活の中の問題点に着目した調査として学校内の消防施設や水道の蛇口を探す活動、消防署見学などの体験的な活動を行ってきた。児童は、体験的な活動を好み、班ごとに校舎内の消防施設の数を調べる活動を行うなど、グループで友達と協力して学習に取り組もうとする態度も徐々に育ってきて、主体的に調べようとする態度も身につけてきている。

社会科の学習により、自分たちの生活を振り返り、今後の生活に生かそうと考える素直な児童が多いので、生活を改善させる意欲を持ち続けるように励ましていきたい。

(3) 指導にあたって

昔の道具や文化財、年中行事調べでは、山口小学校にある「ふるさと資料館」を活用する。ここには、昔の道具や仕事の道具が陳列されている。また、それらの道具を使って、体験活動も行うことができる。これらの道具を観察したり、体験したりする中で、昔の人の暮らしに興味を起こさせたい。

導入時に、衣食住に使われる道具の移り変わりを窓口にしなが、地域の人々の生活の変化を見ていく。さらに、「道」の役割について考えさせ、もし、道がなかったらどんな不便なことがあるかを考えさせることによって、地域の先人、牧庵鞭牛和尚の功績をより身近なものとして捉えさせたい。

「玄翁館」など、地域の資料館や史跡の見学による調査活動も行い、児童の追及意欲を高めながら主体的な活動へと発展させていきたい。

3 単元の目標

- (1) 古くから残る暮らしに関わる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子及び地域に残る文化財や年中行事について調べ、地域の人々の生活の変化や人々の願いについて考えるようにする。
- (2) 地域の発展に尽くした先人の具体的事例について調べ、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

4 指導計画(全18時間)

第一次 オリエンテーション

昔から伝わる伝統行事や、まちの昔と今の写真などをもとに、昔の人たちがどのような暮らしをしていたのか、調べる意欲を持つことができるようにする。(1時間)

- 第二次 1 昔のくらし (7時間)
 第1・2時 資料館をたずねて (本時1/2)
 第3時 昔の道具を体験しよう
 第4時 くらしは、どう変わったのだろう
 第5時 絵年表をつくろう
 第6・7時 まちに残る昔を調べよう

- 第三次 2 郷土の発展につくした人びと (8時間)
 第1時 鞭牛の道づくり
 第2時 安全な道がほしい
 第3・4・5時 「道をつくろう」「あの大岩をくずせ」「食べ物がとどく」
 ※ 玄翁館の見学活動

- 第四次 3 発表会をしよう (2時間)
 第6・7・8時 調べたことをまとめてみよう

5 本時の目標

- 学校の資料館を見学して、展示されている昔の道具について関心を持って調べ、今使われている道具と比較することができる。

6 展開 (2/18)

段階	学習内容・教師の働きかけ	期待する児童の反応	留意点・評価 (◆)
つかむ 2分	1 前時の学習を振り返る。 ○ 昔の宮古の写真と今の宮古の写真とを比べて、どこが違っていましたか。 2 課題をつかむ。 ○ 今日の課題を読みましよう。 (課) 昔の道具は、今の道具とどのようにちがうのか、調べてみよう。	<ul style="list-style-type: none"> 川に架かる橋が増えていた。 幅の広い道路ができています。 自動車で移動できるようになった。 課題を音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時のノートを振り返らせ、写真を見て気付いたことをまとめた内容を発表させる。 町の様子は変わっていたが、くらしの様子も変わったかを予想させ、それについて調べることを伝える。 課題を音読させる。
見通す 5分	3 調べ方を確認する。 ○ 昔の道具は、どのようにして調べることができますか。 ○ ふるさと資料館で今使っている道具と比べられる昔の道具を選んでプリントに書きましよう。 ○ これは何だと思いませんか。 ○ 今ある道具では、何ですか。 ○ プリントには、①に「道具の名前」、②に「今の道具では何か」、③に「今の道具とどのように違うのか」について記入します。 ○ 調べ終わったら、班ごとに調べたことを発表し合って、お互いに学び合いましよう。	<ul style="list-style-type: none"> 家にあるものを調べる。 ふるさと資料館で調べる。 おじいさんやおばあさんに聞く。 電話。 携帯電話やファクシミリ プリントへの記入の仕方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習プリントをノートに貼らせておく。 資料館から電話機を教室に運んでおき、実際にどのようにプリントに記入するかを説明する。 紙板書でプリントへの記入の仕方を示しながら比べ方や書き方を確認する。

調べる 15分	4 「ふるさと資料館」で昔の道具を調べる。 ○ 「ふるさと資料館」の「くらしの部屋」で、昔の道具について調べましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自の調査活動。(15分間) ・ 今の人たちが使っている生活用具と比べられる昔の道具を選んでプリントに書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料館の「くらしの部屋」で調べることを確認する。 ・ 班ごとにストップウォッチを持たせて、時間を意識して調査するようにさせる。
学び合う 8分	5 昔の道具の使われ方を確かめる。 ○ 調べてきた道具が、どのように使われていたか、道具にはどのような違いがあったか等、調べたことを班ごとに話し合っ、分かったことをノートに書き込みましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べた道具が、どのように使われていたか、班ごとに話し合いながら、ノートに書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班の人にプリントの記述を示したり、言葉で伝えたりする活動をさせる。 ・ 他の人の気づきから、「なるほど」と感じたことをノートに記述するように声をかける。 ・ 机間指導により、誰の調べたことから誰がどんなことに気づいたかについて、できるだけ把握する。
まとめる 10分	6 調べて分かったことや友達の気づきから分かったことを発表する。 ○ どんな昔の道具がどんな使われ方をしていたか、友達の気づきから、分かったことがあった人は、教えてください。 7 ノートに「まとめ」を記述する。 ○ 昔の道具と今の道具を調べた今日の学習で気付いたことを発表してください。まとめていきましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ○○さんが、ランプが今の蛍光灯の代わりに使われていたと気付いていました。 ・ ○○さんが、電子ジャーの代わりに「かまど」が使われていたことに気付いていました。 ・ ○○さんが洗濯機の代わりにたらいと洗濯板を使っていたことに気付いていました。 ・ 昔の道具は木でできているものが多い。 ・ 今の道具は、プラスチックや金属でできている。 ・ 今は、昔より小さくなっている道具がある。 ・ 今は、一つの道具にたくさんの機能がついている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㊟ 昔の道具は、今の道具とは材質や大きさや機能などがちがっていた。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰がどんなことに気づいたかを把握しておき、意図的に指名する場合もある。 ・ 現在使っている道具は、大きいものは写真で提示し、小型ラジオ、携帯電話は実物を見せて違いを考えさせる。 ・ できるだけ、児童の言葉でまとめる。
つなげる 5分	8 学習感想を書き、発表する。 ○ 今日の学習の感想を発表しましょう。 9 次の学習について知る。 ○ 次の時間は、昔の道具を4つの時期に分けて年表を作ってみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートに記述する。 ・ 音読する。 ・ 感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感想を発表させる。 ・ 昔の道具をで、4つの時期に分けて年表を作ることを伝える。

7 評価規準

観点	おおむね達成できている (B)	十分に達成できている (A)	支援を要する子への手立て
技能・表現	学校の資料館を見学して、展示されている昔の道具について調べ、今使われている道具と比較することができる。	学校の資料館を見学して、展示されている昔の道具について調べ、今使われている道具と大きさや材質などを比較しながら発表することができる。	展示物に貼られている解説を一緒に読みながら、昔の道具と今の道具を結び付けて比べさせる。 友達の気付きに「なるほど」と感じたことを記述させる。

8 板書計画

1 昔のくらしとまちづくり

① 昔の道具は、今の道具とどのようにちがうのか、調べてみよう。

② 調べて書くこと

① 道具の名前
電話機

② 今の道具では何か。
けいたい電話

③ 今の道具とどのようにちがうのか。
・けいたい電話より大きい。
・ボタンではなく、番号は回すようになっている。

④ ふるさと資料館くらしの部屋にあった道具

① ランプ
ランプの
写真

② 蛍光灯
蛍光灯
の写真

① かまど
かまど
の写真

② 電子ジャー
電子ジ
ャーの
写真

① たらいと洗濯板
たらいと
洗濯板の
写真

② 洗濯機
洗濯機
の写真

⑤ 昔の道具と、今の道具を比べて

- 昔の道具は木でできているものが多い。
- 今の道具は、プラスチックや金属でできている。
- 今は、昔より小さくなっている道具がある。
- 今は、一つの道具にたくさんの機のうちがついている。

⑥ 昔の道具は、今の道具とは材質や大きさや機のうちなどがちがっていた。